

屋外用ペレットストーブ

街の灯台 FARO ファロ

取扱説明書

FARO ファロについて

FARO は単なるペレットの熱分解ヒーターではありません。難しい挑戦の結果、実現しました。深遠な研究によってもたらされた完全燃焼 / ガス化技術をカバーする POB システムの実用新案特許を取得しました。ユニークで、機能的で、環境に優しい、経済的な革新的製品を送り出せたことを誇りに思います。

FARO ファロ熱分解ヒーターの長所

- ・モダンで喜ばれるチャームなデザイン。
- ・直径 200mm のガラスパイプ内の極めて安全な炎が 360 度どこからでも見えます。
- ・アジャスター付で設置面に合わせて水平調整可能。
- ・生物由来燃料を低排出ガスに変える熱分解技術を活用。
- ・電子マザーボード (POB システム) により燃焼・ガス化を全自動制御します。
これにより完全な熱分解を可能にし、燃焼を安定させ、安全で環境に優しい、着火から消火まで煙が出ない燃焼を実現しました。
- ・ステンレス鋼製燃焼ポットは特別な形状に設計 (POB システム) されています。
- ・マグネットキーにより運転モードを全自動制御 (燃焼を途中で止める場合でも)。
- ・高効率で輻射・対流にて熱を供給します。
- ・LED ライトの色の变化で熱分解プロセスの段階を示します。またバッテリーの容量が少なくなると点滅します。
- ・環境に優しく安価な木質ペレットは安全で街中やテラス、渡り廊下、イベント等で使用出来ます。
- ・イタリアでは同様の LPG ガスヒーターや電気ヒーターと比べ燃料コストは 1/5 です。
- ・現在の所 FARO ファロは屋外用ですが、バイオエタノールモデルで 4KW 低出力室内テストも行っています。

FARO ファロは家庭用、カフェ、レストラン、展示会、スポーツクラブなど様々な屋外空間の暖房として使用出来る暖房器具の要求により設計されました。どんな屋外空間でも FARO ファロを増設することにより、より居心地良くなることでしょう。

FARO ファロ 熱分解技術

熱分解は FARO 運転の核になる化学的な過程です。それは酸欠状態で燃える過程で、燃料が熱化学的に分子に分解することです。熱分解過程はごみ焼却施設の工業分野で広く利用されており、その応用過程は実に複雑で、必ずしも便利とは言えません。それというのも、高エネルギー効率が求められ、しかも完全な密閉システムで遂行されねばならないからです。バイオマスを使用する場合この過程は最適な燃料である熱分解合成ガスと固形残渣である燠 (おき) の 2 つの主成分に分離させることとなります。

POB 技術 マイクロガス化

POB システムはバイオマスを熱化学分解、即ち、マイクロガス化の過程を経て得られる合成ガスを使って過程自体に求められるエネルギーに変換します。

- 1 熱分解：バイオマスは合成ガスと燐に変わります。燐が次の段階の試薬になる間に合成ガスは炎を提供することに寄与します。
- 2 ガス化：第一段階でできた燐は連続的にガスに変わって行き、典型的な青い炎を伴う最終段階の燃焼になります。

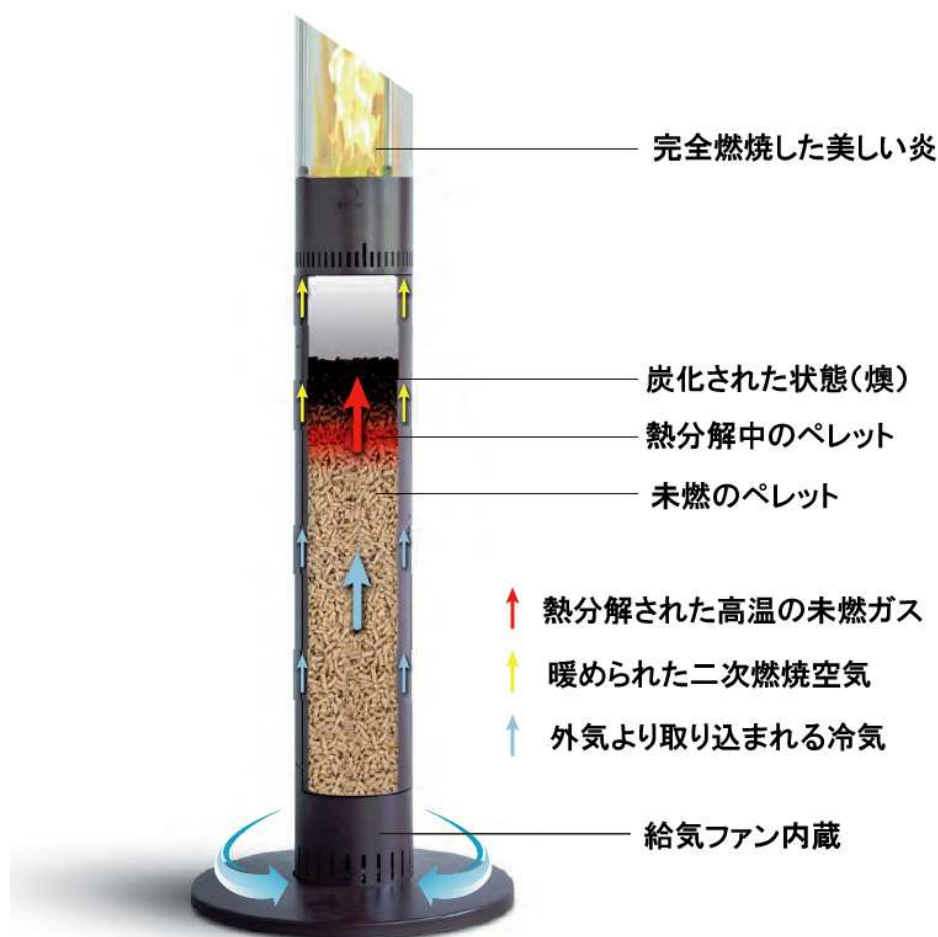
全過程後の個体残渣は取るに足りない量の灰だけです。(最初に充填したペレットの1%以下です。)POB 熱分解システムはマイクロガス化過程が(着火からシャットダウンまで)全く煙の出ない、運転中安定して安全な、使いやすい、極めて環境に優しい経済的な特許技術です。



FARO ファロの主な仕様

マイクロガス化過程は外部からのエネルギー源は不要です。システム換気用に小さな低エネルギーファンがあるだけです。POB 特許技術は炎の調整を自動制御する革新的システムと結びつけた、その形状のデザインと空気力学的な燃焼室に基づいています。POB 技術のおかげで、マイクロガス化過程で出来たガスを最適効率で、排出ガスを最小にして燃やすことが可能です。

市場で既に知られているシステムとは逆に、POB 技術を搭載した製品は炎とそれに伴う出力、全過程において煙が出ないこと、エンドユーザーにとって簡単な操作と保守、安定したマイクロガス化の不変の過程をお約束いたします。



【燃焼時間】 約 6 時間

【ペレットタンク容量】 7kg

【最大燃焼出力】 7KW

【暖房距離】 半径 1.5m以内 (無風状態時)

【電源】 バッテリーパック

【バッテリー容量】 1 回のフル充電で 2 サイクル使用可能

【重量】 52kg

【認証】 CE

【梱包サイズ】 40×60×129cm

【製造国】 イタリア

【メーカー】 POB

FARO ファロのタイプ別の外観



一般的な注意

本取扱説明書にはストーブの正しい使用方法ならびにメンテナンス方法が記載されています。全てを順守して適切かつ安全にお使い下さい。

提供された取扱説明書などの資料は大事に保管して下さい。

ストーブを使用する際は、国や自治体の法令に従って下さい。技術マニュアルに遵守しなかったり、安全装置の焼損、不十分なメンテナンス、粗悪なペレットの使用などにより、人や動物、建物、使用者自身へ損害を与える場合がございます。

安全について

このストーブはユーザー及びメンテナンス作業者のリスクを最小限になるよう設計されています。しかしながら全てのリスクを回避する事は技術的には困難ですので以下の事項を忠実に遵守する事が必須となります。設置、操作、メンテナンスは本取扱説明書の指示ならびに地域の規則に従って実施して下さい。

- ・子供の使用を禁止します。
- ・安全および調整装置の改ざんやメーカーが認めていない改造は禁止します。
- ・バッテリーを外さないで行うクリーニングやメンテナンス作業を禁止します。
- ・焼却炉としての使用、設置目的以外の使用を禁止します。
- ・布や衣類でストーブを拭いたり、衣類を掛けたり、1m以内に可燃物を置く事を禁止します。
- ・ストーブが燃焼中、スタート後、消火中はストーブドアを開ける事を禁止します。
- ・ガラスが割れた状態で使用は禁止します。

- ・ストーブが燃焼中、ガラスやパーツをクリーニングする事を禁止します。
- ・燃焼中または十分に冷めていない時にストーブに触れる事を禁止します。火傷の原因となります。メンテナンスやペレットタンクの装着などにおいてもグローブなどで手を保護して下さい。
- ・液体またはジェル状着火剤以外のタイプの使用を禁止します。

このストーブには防水機能はございませんので雨や雪の中では使用しないで下さい。同様に強風下や風雨が当たる場所で使用しないで下さい。

保管について

ストーブは閉ざされた湿気の無い場所に保管して下さい。重ねて保管しないで下さい。横にしないで立てた状態で慎重に取り扱って下さい。

運搬について

ストーブを持ち上げたり運搬する際はリフトや台車などを使用して下さい。常に立てた状態で可能な限り梱包状態のまま設置場所へ運搬して下さい。

スターターキットと付属品

梱包を開梱する場合、まず上蓋を開けて本体とベースプレート以外の部品を取り出して下さい。その後、外装のダンボールを慎重に持ち上げてパレットから抜いて下さい。本体以外に下記パーツが同梱されています。全て揃っているか確認して下さい。

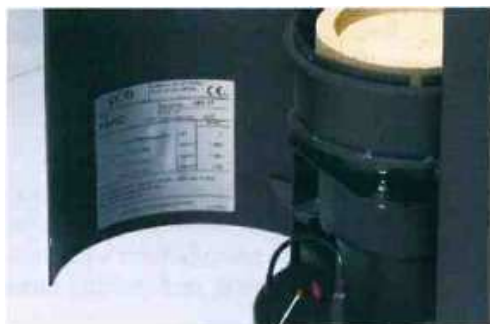


Accessory kit including starting equipment / Kit d'accessoires et d'allumage

保管用ポリ袋、ミトン、点火棒、掃除ブラシ、ハンドル、アジャスター（4本）、断熱皿、水準器（レベル）、ロックピン（3個）、六角レンチ（3種類）、ネジ（3本）、マグネットキー、ハーフサイクル用（タンク底上げ）燃焼皿

輸入品ならびに国内輸送のため、着火剤は付属しません。

商品にシリアルナンバーが記載された下記銘板シールが添付されています。必ず本体ドア裏側下部（下図参照）に貼って確認出来る様にして下さい。



pöb Outdoor pellet heater		CE 17
Fuel: wood pellets		
Model: FARO	Serial No. L107-17	
H01	Year of manufacture: 2017	
Overall thermal power:	kW	7
CO (13% O ₂):	mg/m ³	< 200
NOX (13% O ₂):	mg/m ³	< 200
Dust (13% O ₂):	mg/m ³	< 30
Fuel: wood pellet, length < 30 mm, diameter 6 mm		
Use recommended fuels only		
Only for outdoor use		
Read the instructions carefully		cod.270917

受領後破損がない事を確認して下さい。万が一破損がある場合は配達業者と販売店へ連絡して下さい。輸入元では出荷前にガラスパイプに損傷が無い事を確認して出荷しております。

設置について

FARO ファロの組立・設置は輸入元より認定された販売店が行います。ユーザー自身で設置する場合は保証の対象外となります。但し、メンテナンスなどはユーザー自身で行う必要がありますので本取扱説明書を参照して十分に認識しておいて下さい。

< 設置場所と排気要件 >

FARO ファロは屋外での使用のみに特化した燃焼機器です。

ポーチや東屋などあらゆるタイプに限らず閉ざされた部屋へは設置しないで下さい。

キャノピー、ガゼボ、カーテンなどの可動構造物の下での屋外では設置しないで下さい。

木や植物の下のオープンスペースでは設置しないで下さい。

ストーブの排気は大気中に排出されなければなりません。ファロの排気は見えませんが非常に熱く焼損の原因になります。

排気を塞いだり、ネットを掛けたりしないで下さい。故障の原因となります。

ファロの排気口と排気管を接続して延長する事は厳密禁じられています。

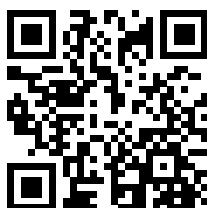
上方及び周囲 1m以内に可燃材のない場所に置いて下さい。

ストーブのベースプレートへは熱は伝わりませんので、ウッドデッキの上でも使用出来ますが、転倒等により燃焼したペレットが飛び散る場合がございますので必要であれば不燃材のプレート等で保護して下さい。

常駐の監督者がいない場合は防護柵や注意書き等で事故防止や注意喚起を行って下さい。

< 組立 >

FARO ファロの詳細な組立手順は動画にて配信しております。下記 QR コードまたは URL よりアクセスして下さい。



YouTube 動画 QR コード

組立動画 URL : <https://www.youtube.com/watch?v=DbmwLriaETA>

または弊社下記ユーロストーブのサイトからもご覧頂けます。

<https://www.pellet-stove.jp/屋外用ペレットストーブ-街の灯台/>

<FARO ファロの各部名称>



<組立順序>

- (1) ベースプレートへ4本の
アジャスターを組み付けて
地面に置き、カバーを被せて
下さい。



- (2) ベースプレートを傷付けないようにベースプレート/カバー中心に本体部を置いて下さい。

- (3) 本体ドアを開けて給気ファンを固定している2本の
六角ボルト（右写真参照）を付属の六角レンチで緩めて
ファンを取り出して下さい。



**注意：給気ファンにはサーモスタットのケーブルが接続されて
いますので、損傷させないように慎重に行ってください。**

- (4) ベースプレートのネジ穴と本体底の3つの穴位置を合わせて
付属の M8×16 のボルトで固定して下さい。この時1カ所は
バッテリー固定用のブラケットを一緒に固定して下さい。
（右写真参照）



(5) 取り外した給気ファンを元の位置に戻して固定して下さい。

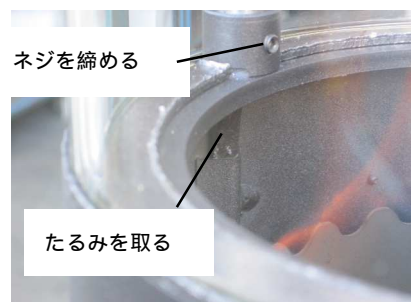
(6) 給気ファントップへ水準器を置いて水平になる様にアジャスターを六角レンチで調整して下さい。
(右写真参照)



(7) 断熱皿を給気ファントップへ置いて下さい。(右写真参照)
ペレットタンクを本体内へ戻してドアを閉めて下さい。



(8) 本体上部に3本のポールを立てます。
固定用ネジを締めてポールを固定して下さい。
1本はサーモスタットが装着されており、先端のセンサー部を右写真のようになる様にポールの穴に押し込んで下さい。(45度)
また、サーモスタットのケーブルは出来るだけ火に近づけない様にたるみを取って下さい。
(右写真参照)



(9) ガラスパイプを慎重に上から被せて下さい。
(10) キャップを取付けて下さい。取り付けたら3か所のポールにロックピンを刺して抜け止めを施して下さい。(右写真参照)



設置場所の注意

FARO ファロは正確に垂直になるよう床の水平をチェックして設置場所に細心の注意を払って下さい。設置場所は凹凸のないフラットな場所、または地面に直接置く場合、長時間置いても60kgの重量に対して水平を保てる場所に設置して下さい。ストーブのベースプレートへは熱は伝わりませんので、ウッドデッキの上でも使用出来ますが、転倒等により燃焼したペレットが飛び散る場合がございますので必要であれば不燃材のプレート等で保護して下さい。

上方及び周囲1m以内に可燃材を置かないで下さい。また近くに植物を置かないで下さい。

メンテナンスやクリーニングの為に安全なスペースを開けて下さい。

既に指摘の通り各地の法令がある場合、そちらを優先するよう考慮して下さい。

最終的な設置場所における水平は付属の水準器を使って確認して下さい。

転倒防止策ご講じる場合はアジャスターのネジ穴を利用してアンカーボルトで直接床に固定する事をお勧めします。

使用上の注意

子供の使用は禁止します。

ストーブ表面（ガラス、本体上下）は非常に熱くなります。アクシデントによる接触、火災の危険に対して防柵等で保護して下さい。**火災の危険がある場合は消防へ連絡して下さい。**

ストーブの設置は各地の法令に従って設置する事を忘れないで下さい。

使用する燃料は天然の木質ペレットを使用して下さい。

<ペレットについて>

市場には様々なペレットがありますが、品質の良いホワイトペレットを推奨します。

オーストリア規格 O Norm M7135、ドイツ DIN plus 規格のペレットを推奨します。

EN 規格 A1 クラスの認証ペレットをご使用下さい。

ペレットの仕様は下記を参照下さい。

直径：6～6.5mm

長さ：5～30mm

含水率：10%以下

灰分：1%以下

密度：650kg / m³

発熱量：4.9kWh：約 18000kJ/kg

素材：廃材や化学薬品が含まれていない木質ペレット。もし接着剤が含まれている場合は天然素材でかつ最小量でなければならない。

高品質の木質ペレットのみを使う事で排出される CO₂ は自然に還元されます。従って上記に対応するペレットで袋に認証マークのあるペレットを使用する事をお勧めいたします。

上記に対応していない粗悪なペレットの使用による不具合についてはメーカーの保証対象外となります。また粗悪なペレットによるストーブ性能低下においても保証しません。

ペレットは乾燥した場所で保管して下さい。焼却炉としての使用など設置目的以外の使用を禁止します。木質ペレット以外の燃料は使用しないで下さい。

本取扱説明書で推奨されていない液体燃料や化学薬品などは着火剤として使用しないで下さい。

可燃材や引火物をストーブの近くに置かないで下さい。（ペレットや着火剤など）

使用前の確認

全ての確認は最初の使用前または長期間保管後の使用前にバッテリーを接続する前に実施して下さい。

ストーブを使用しない時はバッテリーを外しておく事を推奨します。

使用する前に取扱説明書に記載されている下記項目を理解しているか

- (1) 設置場所は安全な離隔距離を確保して下さい。
- (2) ストーブトップ排気口及び近くに排気を阻害するものが無いか確認して下さい。
- (3) ストーブが水平で安定している事を確認して下さい。
- (4) 既に説明している設置場所と排気の要件を今一度ご確認下さい。
- (5) 使用前にバッテリーは常にフル充電して下さい。

ペレットタンクについて

ペレットタンクは本体に挿入されています。専用のハンドルを使って本体から取り出して下さい。ペレットタンク上端から4cmの深さまでペレットを入れたら軽く押し込んで表面を慣らして下さい。燃焼後は灰が残ります。次回の燃焼に備えてタンク内をクリーニングして下さい。燃焼中に消火してしまう場合はペレットタンク内の燃焼皿プレート、ボトムプレートの目詰まりが原因ですのでクリーニングする必要があります。取扱いの際は耐火性の手袋を使用して下さい。木質ペレット以外の素材をタンクへ落とさない様に十分注意して下さい。修理不可能な損傷、不適切な素材の焼却の原因となります。バッテリーを取り外す際はタンクが完全に冷めてから外して下さい。

バッテリーについて

バッテリーは右写真のポート（1台用ポート）のみ使用して下さい。充電の手順はドアを開けて、バッテリーからケーブルを抜き、取り出して充電して下さい。使用前にLEDにてフル充電されている事を確認して下さい。



FARO ファロの使用方法

FARO をご使用の際は下記手順にてご使用下さい。



01

ペレットタンク上端から4cmの深さまで入れて下さい。（7kg）表面を押し慣らす。



02

着火剤を表面全体へ振り掛けて下さい。一部のみ振り掛けると燃え広がりが悪くなります。



03

ペレットタンクへハンドルを付けて次の様に本体へ入れます。



ペレットタンクの上端から本体へ挿入します。



ペレットタンクの底を台座へ正しく置いて下さい。



上の写真は傾いて置かれている悪い状態です。



04

ペレットタンクを挿入した様子です。



05

点火棒で着火します。

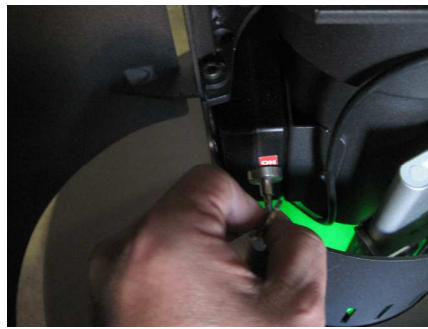


06

着火したら点火口を閉めて下さい。



モバイルバッテリーのスイッチを入れて下さい。



「ON」のシール付近にマグネットを当てて下さい。緑のLEDが点灯します。



約 1 分後にオレンジ色に変わり給気ファンが作動します。



08

上記のように綺麗な炎が立ち上がれば正しく燃焼しています。



燃焼が終了したら、バッテリーのスイッチを長押しして切って下さい。またケーブルを抜いてバッテリーを取り出して下さい。



こちらの付属品をペレットタンクへ挿入すると、かさ上げされてペレット容量が 4kg となり短時間の燃焼に便利です。(約 3 時間)

注意：燃焼はフルサイクルで約 6 時間（ペレット 7kg）続きます。途中での消火は出来ません。

本体下部の LED のカラーについて

本体下部に運転状態を示す各色の LED が照らされます。

マグネットキー ON : グリーン (1 分間)

熱分解燃焼中 (給気ファン作動): オレンジ

炭化状態切換え時: パープル (数分)

完全ガス化燃焼: ブルー (青い炎が続きます)

消火中: レッド

完全消火: グリーン



**レッドの点滅時は電気的エラーまたはサーモスタット
不具合の場合**

クリーニングとメンテナンス

<ユーザーによるクリーニングとメンテナンス>

クリーニングならびにメンテナンスの全てはストーブが冷めた状態で行って下さい。認証ペレットを使用する事によりストーブは適切に機能し、性能を発揮します。結果としてクリーニング、メンテナンスの作業は軽減されます。

- ・使用前にペレットタンク底および嵩上げ用の燃焼皿プレートに目詰まりが無いようにして下さい。必要に応じてワイヤーブラシや掃除機を使って綺麗にして下さい。
- ・掃除機でペレットタンク内及び本体内部、断熱皿などに落ちた灰を除去して下さい。
- ・クリーニングが終わったらペレットタンクは次回の使用に備えて適切な場所で保管して下さい。
- ・本体内部、底部などは掃除機で週一回掃除して下さい。

注意：掃除機を使用する際はストーブが完全に冷めた状態で行って下さい。

- ・ガラスパイプは必要に応じて柔らかい布やキッチンクロスクリーニングして下さい。薪ストーブのガラス用の洗剤を使うと便利です。
- ・スプレー洗剤などで本体塗装部掛からない様注意して下さい。
- ・研磨剤入りの洗剤は使用しないで下さい。
- ・クリーニングはストーブが完全に冷めた状態でバッテリーを外して行って下さい。
- ・装置は水や他の液体で洗わないで下さい。内部に電気部品がありますので非常に危険です。

<シーズン終了後のクリーニングとメンテナンス>

- ・バッテリーを外して下さい。
- ・タンク内の灰を完全に除去して下さい。ブラシを使って掻き落として掃除機で除去して下さい。
- ・年一回は給気ファンをブラシと掃除機でクリーニングして下さい。

ご自分でのクリーニングが難しい場合は販売店へご依頼ください。部品の交換はメーカー純正部品能美をお使いください。

<ストーブを廃棄する場合>

各地方自治体の規則に従って分別して廃棄して下さい。

その他の注意事項

- (1) 基本的に燃焼を途中で止める事は出来ません。どうしても燃焼途中で消火しなければならない場合は下記手順で行って下さい。
 - ・ 給気ファンを止めて下さい。
 - ・ 火が小さくなったら、ペレットタンクを取り出して下さい。
 - ・ ペレットタンクへ砂を被せるか、ペレットタンクを傾けてペレットを掻き出して下さい。ペレットタンクは高温になっていますので火傷しない様、耐火性の防護具をご使用下さい。また、途中で消火する際は不完全燃焼となり煤や煙でガラスパイプが汚れますので予めご了承下さい。
- (2) 本体全体は高温になります。またアンカー等で固定してない場合は転倒の可能性があります。特に不特定多数の人が利用する場合は事故防止の為、防御柵などを設けて事故防止に努めて下さい。
- (3) 必ず使用前に毎回バッテリーはフル充電して使用して下さい。途中で切れると不完全燃焼となります。バッテリーの容量は 10Ah です通常の USB ケーブル (2.4A) で 4 時間は必要です。詳しくは同梱の取扱説明書を参照して下さい。
また、ご使用後はバッテリーを本体から抜いて室内にて保管して下さい。
- (4) 着火剤は液体のバイオエタノール等の環境に優しい成分の物を推奨します。ジェル状の着火剤でも使用出来ますが、ガソリンや灯油等は使用しないで下さい。また本体の傍に燃料を置かないで下さい。
- (5) 長期保管時は付属のポリ袋を被せて、湿気の少ない場所に保管して下さい。
- (6) EN 認証 A1 ペレット以外をご使用の場合、クリンカーの発生により一次燃焼空気が不足して火が消える場合がございます。(煙のみが排出します。)直ぐに点火棒で煙に火を付けて下さい。
給気ファンが停止している場合は、一旦バッテリーを OFF/ON して、マグネットキーで再スタートさせて下さい。
- (7) 強風が予想される場合は使用をお控え下さい。また影響を受けない場所へ移動させて下さい。

【 保 証 書 】

この製品の保証期間はご購入日から 2 年間です。保証書を使う際は以下のことを行ってください。

- ・領収書、銀行振り込み記録などにより、ご購入年月日を明示してください。明示が無い場合は保証の対象外となります。
- ・保証期間内に故障が生じたり、破損や欠陥が見つかった場合は、お客様のお名前、住所、電話番号、ご購入年月日、シリアルナンバー、トラブルの状況およびストーブの設置・運転状況を販売店にお知らせください。(次項参照)

< 基本的な保証条件について >

- 1) 輸入元は、構成部すべてにおいて(消耗品を除く)ご購入年月日から 2 年間保証します。
但し、機能上問題の無い外観品質(錆や経年劣化など)バッテリーパックの容量低下に関しては、不良品の場合を除いて保証の対象にはなりません。バッテリーの保証については、バッテリーメーカーへ直接ご連絡下さい。(メーカー保証書が同梱されています。2 年間保証です。)
- 2) 保証期間内に破損もしくは欠陥が見つかった場合、販売代理店に点検を依頼してください。設置業者により不備が確認された場合、必要な部品交換などはすべて無償で行われます。
- 3) この保証書は、本製品をご使用のお客様にのみ有効です。権利の譲渡はできません。ストーブの誤った設置や使い方および、温度によるストーブ表面への影響についても保証の対象外になります。
- 4) 保証金額は、本製品の購入代金を上限とします。製造会社・輸入元は、修理または欠陥部品の交換でお客様に補償します。
- 5) お客様のメンテナンス不足に起因する不具合、また設置工事ならびに設置工事不備による損害は保証の対象となりません。
- 6) 使用中の火傷等の事故、転倒による破損などについては保証の対象外です。
- 7) 改造やメーカーの純正部品以外の使用が認められる場合は保証出来ません。
- 8) 修理が困難場合は交換、廃番等により代品が入手困難の場合は返品または購入金額の返金のみとしその他の保証は出来ません。
- 9) 火災、地震、その他の天災による故障及び損傷、また納品後の移動、輸送、什器備品等との接触による故障及び損傷については保証出来ません。
- 10) 輸送中の事故に対しては保証対象外です。運送会社の保証を適用下さい。
- 11) 表面及び全ての部品のヒートショックによる損傷は保証対象外です。
- 12) 通常の摩耗や損傷を受ける部品(ガスケット、断熱皿、燃焼皿プレート、樹脂部品、ガラス部品、電気部品など)は保証対象外です。
- 13) 違法な人員による改造、怠慢、不適切なメンテナンスによる誤作動や経年劣化は保証対象外です。

< 保証の技術要件 >

下記の要件を満たさない場合は保証対象外と判断します。

- (1) 本取扱説明書に従って組立・設置・メンテナンスを実施して下さい。
- (2) 設置する地域の規則・法令ならびに本取扱説明書に従って設置して下さい。
- (3) 部品の交換は輸入元または販売店にてメーカー純正品のみご使用下さい。
- (4) 輸入元及び販売店がサービス介入時、実際と異なる設置日や他の要素について虚偽が確認された場合は保証を受ける事が出来ません。

機器に錆が発生している場合は保証の権利が失効いたします。

<保証サービス内容>

- (1) 輸入元・販売店は故障の内容が保証書によってカバーできるかどうかを確認した上で、無料修理・交換を行います。
- (2) 保証サービスは現場または輸入元・販売店施設内にて行いますが、現場以外の場合は搬送費用が発生いたします。
- (3) 保証期間中は保証による部品交換は何度でも有効です。
- (4) 部品を交換しても保証期間は延長できません。
- (5) 所有者が変更になう場合、保証は無効になります。全ての作業は有料となります。

<保証外の作業について>

保証外の作業については工賃、交通費、搬送費、部品代など全て有料となります。

<メーカー責任について>

必要に応じてメーカーは技術的支援を行います。設置業者は各地の技術的要件を満たしていなければなりません。メーカーは直接および間接問わず、人や動物などへ与える損害に対して一切の責任を負いません。

注意: ご購入者は、保証書がいつから効力を発揮しているかを証明するために、お買い上げ年月日
明記された領収書あるいは送金レシートを必ず保持・保管してください。証明できるものが無い場合は保証出来ません。

お買い上げ年月日： 年 月 日

輸入元：有限会社河西（ユーロストーブ） 〒243-0425 神奈川県海老名市中野 1-11-39
TEL：046-238-9991 <https://www.pellet-stove.jp> E-mail:info@pellet-stove.jp

【お客様登録情報】

ストーブタイプ	F A R O V
シリアルNo	
お名前	
郵便番号・ご住所	
お電話番号	
メールアドレス	
施工代理店	
お客様のサイン	

お客様の情報は保証の確認のみに使用し、第三者へ開示することはありません。